

海外送金 ISO20022 移行について(送金依頼の変更)

海外送金にかかる代表的な決済ネットワーク国際送金サービスである SWIFT (国際銀行間通信協会) は、2023 年 3 月 20 日 (*) より、従来の規格である MT フォーマットから、金融サービスの通信メッセージ標準である新たな MX フォーマット (ISO20022) へ順次移行する旨表明しています。銀行間で使用するデータフォーマットは MX フォーマット (ISO20022) に統一され、MT フォーマット (従来の規格) は 2025 年 11 月に廃止されるため、埼玉りそな銀行でも 2023 年 3 月 20 日より SWIFT の移行に対し順次対応を実施しております。対応予定のスケジュールについては詳細決まり次第、別途お知らせいたします。

* SWIFT より：当初 2022 年 11 月から、2023 年 3 月へ延期となりました。

ISO20022 とは

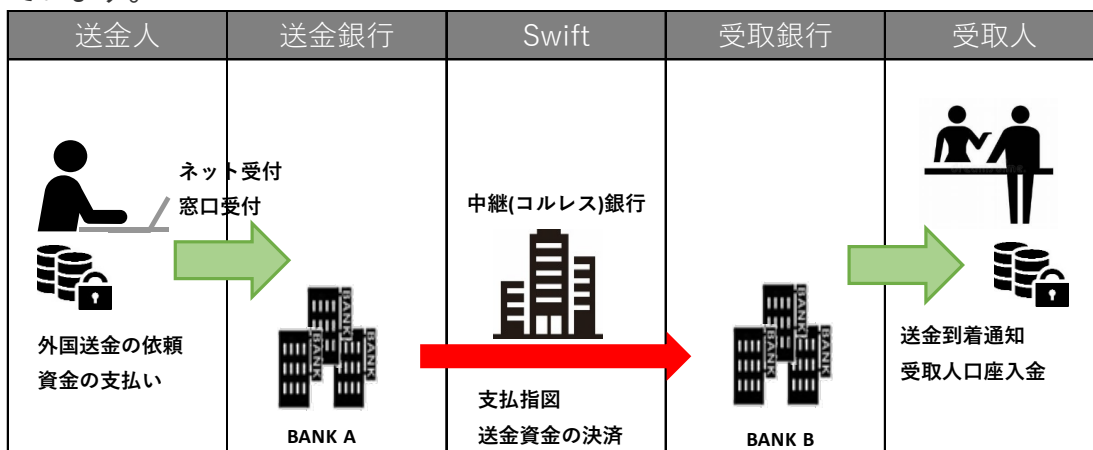
ISO20022 は、金融サービス情報の伝送に用られる、金融通信メッセージフォーマットの国際標準規格で、お金のやり取りをするときには、「このような情報をこのように送受信してください」というルールです。送金に必要な情報だけでなく、お客さまの取引に関わるさまざまな情報を、共通の規格で送受信することが可能となります。

ISO20022 移行

従来の規格である MT フォーマットは、40 年以上も前に誕生したもので、現在においては機能的に限界があり手作業が必要なため、外国送金取引のプロセスを複雑にしてきました。また、国際的なアンチマネーロンダリング (以下、AML) 規制強化により、今後、課題が生じる可能性があります。これらの課題に対応するため、海外送金のデータフォーマットを新たな MX フォーマット (ISO20022) へ移行することにより、従来の規格に比べて柔軟性や拡張性に優れたデータ活用が期待でき、不正が防止され、データ分析精度やコンプライアンスの向上が期待されています。

海外送金の仕組み

海外送金は、「〇〇さんの口座に USD〇〇を入金してください」という支払指図を SWIFT (国際銀行間通信協会) によるグローバルネットワークを介して銀行間でやり取りすることで実行、決済されています。



メッセージフォーマットの例

【MT フォーマット (従来の規格)】

MTフォーマット	
: 59 : /	
AAA Company	, BBB 123
<u>受取人名</u>	<u>住所</u>
, 987654	, CCC City State
	<u>都市名・州名</u>
, DD Country	
<u>国</u>	

【 MT フォーマット (従来の規格) 】

- ・送金受取人情報は、「59」という一つのフィールドに受取人名・住所・都市名・国名などの多数の情報を入力されている。
- ・アナログな仕組みになっており、入力欄には、複数の情報を一括入力することが求められており、国際的なAMLのスクリーニングが困難。

【MX フォーマット (ISO20022)】

MXフォーマット (ISO20022)	
<Cdtr>	
<Nm> AAA Company </Nm>	<u>受取人名</u>
<PstlAdr>	<u>住所</u>
<StrtNm> BBB </StrtNm>	
<BldgNb> 123 </BldgNb>	
<PstCd> 987654 </BPstCd>	
<TwnNm> CCC </TwnNm>	<u>都市名・州名</u>
<Ctry> DD </Ctry>	<u>国</u>
</PstlAdr>	
</Cdtr>	

【 MX フォーマット (ISO20022) 】

- ・MX フォーマット (ISO20022) ではタグと呼ばれる記号で文字を囲むことで、データの内容を明確に記載することが可能となる。
- ・住所情報における国や都市の情報を明確化、情報量が増えコンプライアンス対応が向上する。
- ・従来のMT フォーマットと比べ、拡張性が高くデジタル化に対応しやすく、送金データ取込後の消込などの自動化が可能。
- ・新しいデータ項目の設定や、送金情報詳細といった多くの情報を送金依頼と同時に早く送信することができる。

住所情報の明確化

送受信できる情報が拡充

お取引の迅速化

被仕向送金の影響について

2023年3月20日以降、MXフォーマット（ISO20022）が利用開始されました。2023年3月20日から2025年11月までの間はMTフォーマット（従来の規格）とMXフォーマット（ISO20022）との併存期間となります。埼玉りそな銀行では、MXフォーマット（ISO20022）で到着した外国送金は、併存期間中、変換ルールに従いMTフォーマットに変換し、従来通りお客さまの口座へご入金をさせて頂いております。なお、MXフォーマット（ISO20022）で受信する情報は情報量増加が見込まれますので、全ての項目を到着案内明細には表示しきれない可能性があります。MTフォーマット（従来の規格）で項目毎に定められた文字数の上限値を超過した場合、送金人の住所など原データの一部しか表示されない場合もございますが、変換ルールに則って実施いたしますので、影響は限定的であると想定されます。送金受取人へのメッセージについて一部しか表示されない場合には、元データを別途お客さまへご案内致します。

仕向送金の影響について

現在、埼玉りそな銀行ではMXフォーマット（ISO20022）での送金受付の開始時期を検討中です。2025年11月にMTフォーマット（従来の規格）の廃止が予定されており、移行期間の間は新旧フォーマットが併存することになります。海外送金においては、お客さまからいただく送金依頼のフォーマットにも変更（送金依頼人・送金受取人・受取銀行の住所情報の構造化と細分化）が生じるため、一部のお客さまにおかれましては、社内システムの更改が必要になる可能性がございます。ご了承お願いいたします。

貿易取引の影響について

現在発表されているMXフォーマット（ISO20022）移行スケジュールは、顧客送金（MT100番台）、銀行間送金（MT200番台）、資金管理（MT900番台）のみです。貿易取引で利用される信用状付・なし取引については、ISO20022に移行する予定はございません。